

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)7月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第95号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy
Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて [検索](#)

【Facebook】<https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

パンクラッチ村に小学校校舎が完成

昨年からの建設中だったパンクラッチ村(プレイベーン県)に小学校の校舎が完成、5月26日、贈呈式が行われた。

式には、校舎を寄贈した「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)、及び「新津ライオンズクラブ」(新潟市秋葉区・石川幸夫会長)のメンバーなど7人が出席。

校舎の建設を請け負った本会からは、根岸理事長が出席した。

また、在カンボジア日本国大使館から鴨志田参事官が出席、カンボジア政府を代表し、シアン・ブン・レン内務省副長官が出席した。地元からは、プレイベーン県知



贈呈式であいさつする石川会長



3教室の立派な校舎が完成

事を始めとする多くの関係者、住民、生徒ら約1000人が出席、新校舎の完成を盛大に祝った。

式の中で、校舎を贈呈してくれた2つの団体及び本会に対し、カンボジア政府から感謝状とメダルが授与された。

子どもたちには、校舎を寄贈した2団体から、学用品セット(400人分)が贈られた。

新校舎はレンガ造りの平屋建て3教室、教室内の机などの備品は、カンボジア政府が提供してくれた。

新校舎は、新学期となる今年の10月以降、パンクラッチ村の子どもたちなどが利用、授業を開始する予定。

在カンボジア日本国大使館より晩さん会のご招待

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

5月26日、パンクラッチ村(プレイベーン県)で小学校校舎の贈呈式を行い、在カンボジア日本国大使館(プノンペン市)より、鴨志田参事官のご臨席を頂いた。

更にその晩は、同大使館の堀之内大使が、大使公邸において晩餐会を開いてくださった。お招きを受けたのは、パンクラッチ村に小学校校舎を寄贈した新津ライオンズクラブ(新潟市秋葉区)より3人、カンボジア政府からシアン・ブン・レン内務省副長官、通訳としてシンホン氏、それに根岸を加えた6人。

堀之内大使からは、小学校校舎を寄贈した新津ライオンズクラブの皆さんに、感謝と労いのお言葉

を賜った。

過去20年間、カンボジアへの支援活動に携わり、大使館への表敬訪問は何度か経験したが、晩餐会のお招きを受けたのはこれが初めて。

美味しい日本料理とワインをいただき、心身ともに満足の一日だった。



堀之内大使(中央)を囲んで(大使公邸で)

カンボジアについて学び、支援と交流を推進していきましょう

第2回 カンボジアセミナー

2017年7月29日 JICA 地球ひろば

日時:2017年7月29日(土) 午後1時~4時

会場:JICA 地球ひろば セミナールーム 201 (東京都新宿区市谷本村町 JICA 市ヶ谷ビル)

定員:40名(定員になり次第締め切らせていただきます) 参加費:無 料

●本会のカンボジア活動報告会

講師=根岸恒次氏(NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会理事長)

●カンボジア語を学ぼう「カンボジア語であいさつしよう」

講師=ノップ・ヴィサル氏(筑波大学院留学生)

●「カンボジアについて学ぼう!語ろう!」

カンボジア人留学生を交えて懇談会

主催/NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会

後援/在日本カンボジア王国大使館・カンボジア留学生協会

協賛/JICA地球ひろば

■申し込み・問い合わせは、本会事務局へ

TEL...03-3991-2854 E-mail...info@aac21.net

セミナープログラム

チュムリアップ スーオ
ជំពូកប្រជុំ
(こんにちは)



「カンボジアの現状」について講演する在日本カンボジア王国大使館参事官(昨年度)

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめしてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば72年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】:子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】:年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。

年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地にかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部にかかる経費として使われます。

【サポート期間】:最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】:里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

夢ホームが子どもの施設らしくなりました

三林けい子さん（新潟市、里親会員）の友人、櫻井みゆきさんが、「夢ホーム」に約1週間泊まり、子どもたちが食事する場所の壁面に、ペンキで漫画を描いてくれた。

描いてくれた漫画はドラえもん、鉄腕アトム、アンパンマンなど。子どもたちと一緒に描いたものも数点。

櫻井さんは、冬はスキートのインストラクターとして北海道のニセコで働き、春から秋にかけ、日本と季節が反対のオーストラリアで同じ仕事をしている。

「夢ホーム」の子どもたちは、1



子どもたちと一緒に描きました（左が櫻井みゆきさん）

児童養護施設夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在10歳～19歳の男女15人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

■ 今年も高校生2人が卒園予定

早いもので、今年も高校卒業試験が近づいた。8月に行われ、9月に発表される。夢ホームの子どもたちのうち、今年2人が卒業試験を受ける予定。日本と違い、カンボジアの高校卒業試験は大学入試より難しい。合格を目指し、2人の子どもは日夜勉学に励んでいる。



15人の子どもたち



卒園予定の2人

カンボジアの小学校と村に4つの井戸が完成

5月は、カンボジアの村と小学校に4つの井戸が完成、根岸理事長が出席し、贈呈式を行った。

2003年から井戸を掘ってきたが、とうとう300基の大台を超えた。足掛け15年、多くの方々の善意あってこそこの偉業だ。千里の道も一歩から。



5月に完成した井戸の内訳

	ネームプレート名	学校・村名	生徒数	所在地(県名)
①	結婚記念 武藤浩司・敦子 寄贈・長崎県 武藤和義・康代 様	タンノップ中学校	346人	コンボンチャム県
②	村西 宏章 様	トゥールコーク小学校	186人	トゥボンクモム県
③	佐藤 たず子 様	コンボンルッセイ小学校	260人	トゥボンクモム県
④	澤木 和子 様	ブンヴェン村	690人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年～)＝302基(5月現在)

来年も新校舎の寄贈を予定

5月27日、パンクラッチ小学校の贈呈式に出席するためカンボジア訪問中だった「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区)の石川幸夫代表が、ロマアンソー小学校(コンボンスプー県オラル郡)を訪問、学用品セットを届けた。

同会は、今年に続いて来年も小学校校舎の寄贈を予定しており、木造の家を借りて授業している同小学校に新校舎を寄贈する予定。



生徒に学用品を配る石川代表

子どもたちに寄贈品を届けました

5月25日～6月10日、根岸理事長がカンボジアに滞在中、日本から持参した寄贈品を村や夢ホームの子どもたちに届け、喜ばれた。配布した寄贈品は次の通り。

ぬいぐるみほか(提供〓加藤知恵子様)、飴ほか(提供〓岩橋京子様)、衣類ほか(提供〓札幌手稲高等学校家庭クラブ)。



ぬいぐるみもらった村の子どもたち

サッカーボールとソロバンを寄贈

ボランティアグループ「ともしび」(岡本浩史代表・東京都柏江市)が、カンボジアの子どもたちにサッカーボール(12個)、視覚しょうがい者用ソロバン(5個)を寄贈した。サッカーボール12個のうち、7個を視覚しょうがい児の学校「クルオサータマイ」(プノンペン市)に、3個を夢ホームに、2個を「デチョーアンカイン小学校」(カンボット県)にそれぞれ寄贈した。視覚しょうがい者用ソロバンは「クルオサータマイ」に寄贈した。

5月30日、根岸理事長が「クルオサータマイ」を訪問、サッカーボールとそろばんを持参した。サッカーボールには鈴が入っていて、視覚しょうがいがあってもサッカーを楽しむことができる。



新しいサッカーボールで練習する夢ホームの子どもたち



視覚しょうがい者用のソロバンを試すクルオサータマイの生徒たち

クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親又は片親を失い、かつ貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の子どもたちを教育支援している。6月1日～3日、教育里親さんからお預かりした里子へのプレゼントを、20人の子どもたちに届けた。今回、カンボジア訪問団体を引率する関係で、根岸のカンボジア訪問が遅くなったこともあり、里子プレゼント数が60を超えた。

根岸が届け切れなかったプレゼントは、現地スタッフが後日届けた。プレゼントを送ると、里子からお礼の手紙と写真が教育里親さんに郵送される。

また今回から、プレゼントのメニューに文具セット(1000円)を加えた。(根岸記)



20人の里子にプレゼントを届けた

教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へプレゼントを届ける方法は2つあります

①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

- 自転車(大人用・中古品) ……8,000円
- お米(50kg) ……5,000円
- Tシャツ・サンダルセット(Tシャツ2枚&サンダル1足) ……2,000円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) ……1,000円
- 本セット(絵本3～4冊/高学年以上は児童書・伝記等1～2冊) ……1,000円
- 文房具セット ……1,000円(ノート・筆記用具等)

新しく追加した文房具セット▶



②日本から持参

品物や手紙は練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

エンジンアを目指します【トレイ・シアック】

私はトレイ・シアックといいます。日本の教育里親さんより、小学4年生から教育支援を受けています。昨年高等学校を卒業し、今はプノンペン市内の、エンジンアを養成する専門学校で学んでいます。学校は5年間あり、授業料は年間400ドルです。アルバイトしたり、教育里親さんが生活支援を続けてくれています。友人と、アパートを借りてプノン

ペン市内で住んでいます。今のアルバイトは、レストランのウェイターをしています。将来の夢はエンジンアになることです。教育支援してくれた里親さんに恩返しするためにも、夢をあきらめないで頑張ります。



東久邇宮記念賞授与式&祝賀会開催

4月18日、「大阪ガーデンパレスホテル」(大阪市淀川区)において「東久邇宮記念会」(東京都新宿区百人町)が主催する「東久邇宮記念賞授与式&祝賀会」が開催され、受賞者、関係者など約200人が出席した。同会は、皇籍離脱後の東久邇宮盛厚殿下(故人)と、豊澤豊雄名誉会長(故人)が設立した団体で、宮内庁や他の国の機関とは一切関係のない民間の非営利団体。

当初は小発明に貢献のあった人を表彰していたが、近年、受賞の対象となる範囲を広げ、文化・芸能・スポーツ・ボランティアなどの分野で貢献のあった人々も表彰の対象とすることで、一般大衆に親しまれる宮様の賞として定着した。根岸理事長が長きに亘り同会の

役員をしていることから、本会からも、ボランティアとして国際協力に貢献された会員さんらが過去、多数受賞している。

今年は、神戸ユネスコ協会(神戸市中央区楠町・法人会員)に属し、何度かカンボジアを訪問して貢献してくれた政次弘さん(神戸市在住)が受賞の栄誉に輝いた。



受賞した政次弘さん

クメール正月を祝うパーティーに参加

カンボジアのお正月は4月14日～16日。会社や官庁はほぼ1週間お休みし、学校は約2週間の休暇に入る。日本では冬休みといったところ。

日本でも、カンボジア王国大使館やカンボジア留学生協会が主催してお正月を祝うパーティーが開かれ、カンボジア留学生協会主催のパーティーに本会会員ら8人が参加した。

パーティーのお食事はクメール料理。食後、輪になってクメールダンスを踊り盛り上がった。参加者は約200人。日本人も沢山来ていて、交流の場になった。



パーティー会場の様子

第3回カンボジアフェスティバルに出展

5月3日～4日、代々木公園イベント広場(東京都渋谷区内)にて、第3回「カンボジアフェスティバル」が開催された。在日本カンボジア王国大使館・在日カンボジアコミュニティ・在日カンボジア留学生協会が主催、本会も昨年に続き出展した。2日間にわたる活動の中心は、活動資金を生み出すためカンボジアで仕入れたバッグやティシャツ、スカーフなどを売ることで、会報やチラシなどを通行人や品物購入者に渡し、理解と協力をいただくことの2つだ。則効き目は薄いですが、ジワジワと会員獲得につながるものと信じている。



カンボジアの国民的歌手 プレップ・ソバツさんに来てくれた

神戸ユネスコ協会が写真とボールペンをプレゼント

昨年11月、神戸ユネスコ協会(神戸市中央区・加藤義雄会長)が、5年前に校舎を寄贈したストックアイトロミヤ神戸ユネスコ小学校(コンポンチュナン県)を訪れた際に撮った集合写真を、6月5日に届けた。写真はA4サイズに拡大し、生徒全員に行き渡る枚数を用意した。併せて、ボールペンも寄贈した。生徒たちは、思わぬ贈り物に両手を合わせて感謝していた。



写真を掲げて記念撮影

遠藤啓さんがカンボジアを訪問

遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が6月2日から11日までカンボジアを訪問、本会の活動に参加した。

前半はアンコール遺跡のあるシェムリアップで3つの小学校を訪問、合計18クラスの集合写真を撮り、次回訪問時、全生徒に寄贈する予定。

また、シェムリアップの市場でボールペンを購入、訪問先の小学校で配布した。

後半は、愛知県板金工業組合青年部・リカバリーサポートあいちの皆さんと一緒に、夢ホームとデチョーアンカイン小学校を訪問した。



合計18クラスの集合写真を撮る
写真提供=遠藤啓様

校舎が老朽化し雨が降ると授業が中断

2004年、村人たちが金を工面して建てた小学校の木造校舎が老朽化、今にも壊れそうだと報告を地元校長先生から聞き、5月31日、早速リサーチに出かけた。

プノンペン市内から車で国道6号線を北上、日本の無償援助で完成したメコン川にかかる「きずな橋」を渡り、3時間半かけて目的地に着いた。

その小学校は「クリアウ小学校」(トウボンクモム県クロウチュマー郡クリアウ村)。村の人口は約900人(175世帯)。生徒数は166人(1年生から3年生まで)。先生は3人。校舎が狭いため、同村の4年生～6年生は、10キロメートル離れた、他村の小学校に通学しているようだ。

授業は午前中のみ(7時～11時)。木造校舎ながら3つの教室があり、1年～3年生が3つのクラスに分かれて学んでいた。

この地域は昔からイスラム教徒が多



老朽化した木造校舎で学ぶ子どもたち

本会は在日日本カンボジア王国大使館(東京都港区赤坂)と連携し、活動しています。

「愛知県板金工業組合青年部」「リカバリーサポートあいち」2つの団体がコラボしカンボジアでボランティア

6月6日、12日、標記団体がカンボジアを訪問、各所でボランティア活動を行った。

同団体のカンボジア訪問は昨年6月に続き2度目、人数も昨年より増え19人が参加した。

6日、セントレア国際空港(愛知県)からシェムリアップ国際空港へ。

7日、「愛知県板金工業組合青年部」の先輩、鈴木千雄さん(故人)が寄贈した小学校を訪問、学用品を配り生徒たちと交流した。

歯の衛生指導を行うNPO法人「リカバリーサポートあいち」の皆さんが、歯の磨き方を指導した。

8日はシェムリアッププノンペンへ飛行機で移動、夜は地元の建設関係者と食事しながら意見交換会を行った。

何もない校庭に苗木を植樹

6月10日、「愛知県板金工業組合青年部」と「リカバリーサポートあいち」の皆さんが、鈴木千雄さんが寄贈した小学校を訪問した際に、遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が同行、日本で集めた資金で買った苗木(20本)を植樹した。同団体の皆さんもお手伝いしてくれた。



植樹する遠藤さん(右)

11月には、2度目の植樹作業を計画しており、カンパも募集中。(1口千円)協力してくれる方は、遠藤啓さんにご連絡を。
電話…090(4150)8850

? 会員の皆様からのご質問

会員様からいただくご質問、ご意見ご要望にお答えいたします。

質問1 確定申告で、寄付金が申告できるように手続きをしてください。

回答1 昨年9月に、納税者が寄付をした場合に寄付金が控除される「認定NPO法人」の取得を目指し、申請書類を提出いたしました。それに基づき、今年の1月、監督官庁(東京都)の監査が実施されましたが、現時点では認可基準に到達することができませんでした。
そこで、改めて2019年度に再チャレンジすることになり、目下準備中です。もうしばらくお待ちください。

質問2 定形郵便の封筒で会報を郵送すれば、通信費が節約できると思います。

回答2 以前は定形郵便で会報を送っていましたが、近年は定形外封筒(角2サイズ)を使っております。その理由といたしましては、定形郵便にあたる封筒では会報、その他のお知らせ等を3つ折りする手間代、発送作業にかかる時間のロスを考慮し、かつ、ゆうメール特別料金の法人契約をしておりますので、定形内と定形外の料金がさほど変わらないこともあり、現在に至っております。



質問3 地方での会員の集まりをもっと多く計画してください。

回答3 過去において、関西・九州・北海道などで会員の集いを実施したことがあります。近年は東京や横浜などの首都圏に限定されがちです。
地方での活動を盛んにしていくためにも、それは必要なことですので、今後なるべく首都圏以外でも活動を実施できるよう、努力して参ります。
現時点で、秋頃に関西方面で会員のつどいを計画しておりますので、詳細が確定しましたら、会報でご案内致します。



お知らせ 当会への会費・寄付金のご送金口座の記載を変更いたしました。

従来、ゆうちょ銀行の振替口座番号のみの掲載でしたが、ネットバンキング等をご利用の会員様からのご要望も多くあり、りそな銀行とゆうちょ銀行の口座番号表記を掲載いたします。ぜひご活用ください。



「リカバリーサポートあいち」のメンバーによる歯磨き指導(小学校)



「愛知県板金工業組合青年部」のメンバーによる板金指導(夢ホーム)

9日、小学校と夢ホームを訪問、小学校では7日同様、学用品を配り交流と歯磨き指導を行った。

夢ホームでは子どもたちに板金指導と歯磨きを指導、夜は子どもたちとカレーを食べて交流した。
10日は、やはり鈴木千雄さんが寄贈した小学校を訪問、学用品配布、歯磨き指導、生徒たちと交流した。
11日は観光を中心に活動、夜の便で帰国の途についた。

東京都調布市写真展 カンボジアの子どもたち

東京都・調布市内で写真展と活動報告会を開催します。

お近くにお住まいの皆様、ぜひお越しください。(入場無料です)

写真展「カンボジアの子どもたち」

【日時】8月17日(木)～22日(火)

※17日は午後4時から開始

※22日は午後2時で終了

【活動報告会】

8月19日(土) 13時～15時

【講師】根岸恒次理事長、ほか

【会場】調布市文化会館たづくり

みんなの広場(11F)

東京都調布市小島町

2-33-1

【交通】京王線調布駅南口下車

徒歩5分(調布市役所そば)

※詳細は、事務局へお尋ねください。

活動に参加しませんか

クメール教育里親会員

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートしてくださる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

個人・団体会員として

・個人会員(年額5千円)
・団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■第36回カンボジアふれあいの旅は7月6日(12日、一部参加者含む)9人が参加いたします。旅が無事遂行されますよう、お祈りください。

■昨年12月に第1回目を開催した「カンボジアセミナー」、好評にて第2回目を7月29日に開催いたします。昨年と同じ会場(JICA地球ひろば)になります。是非ご参加ください。

■根岸理事長のカンボジア訪問日程が6月中旬まで延びたため、会報(95号)の発行が遅れましたこと、お詫びいたします。

7月・8月の予定

●会報「アンコールワット」7月1日付第95号発行

●第36回カンボジアふれあいの旅(7月6日・12日)

●第2回カンボジアセミナー(7月29日、JICA地球ひろば)

●写真展「カンボジアの子どもたち」

(8月17日・22日、調布市文化会館たづくり)
(活動報告会)8月19日午後1時～3時、同会場で

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・アンコールワット観光・トンレサップ湖、水上生活村の小学校訪問など 第37回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもたちとの交流をはかることができます。
特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。
もちろんカンボジアといえば世界遺産の宝庫、アンコールワット観光やトンレサップ湖水上生活村の小学校訪問もコースに入れました。なお、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、参加される方は、事前に会員登録(年会費 5,000 円)が必要になります。



「夢ホーム」の子どもたちが皆さんをお待ちしています



水上生活村の小学校を訪問します

■お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213

【旅行期間】2017年11月8日(水)～11月14日(火)〈5泊7日〉
【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
【滞在ホテル】シティリバーホテル(シェムリアップ)2泊
ミトホテル(プノンペン)3泊
【利用空港】成田空港、関西空港、中部(名古屋)空港など
【旅行日程】8日=成田空港・関西空港などから乗り継ぎにて、カンボジアのシェムリアップ国際空港へ
9日=アンコールワット観光(自由行動も可能)
10日=トンレサップ湖、水上生活村の小学校訪問
シェムリアップ→プノンペンへ車で移動
11日=小学校を訪問、学用品配布、植樹
12日=夢ホームを訪問、セントラルマーケットで買い物
13日=里子の家を訪問
午後5時ホテルチェックアウトして帰国の途に
14日=早朝、成田空港、関西空港などに到着
【旅行代金】12万円～13万円を予定。(航空券代の変動により、多少の増額もあります。)
*現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*傷害保険は各自でおかけください。*ビザ申請代(30ドル)、アンコールワット入園料(36ドル)等は現地にて各自お支払ください。
【締切日】2017年8月31日(木)